

令和5年度福島県立湖南高等学校第1回学校運営協議会 議 事 録

❖ 日 時：令和5年5月16日（火）14：40～16：30

〔出席者〕

委 員（敬称略・順不同）

小山伝一郎、佐藤 忠男、石田 慶仁、大内 紀男、片平 力也、山口 正国、野口 智行
（欠席者：満田 仁一、鈴木 勝美、桑名秀一郎、和田 祐樹、薄 良枝）

事務局

菊池由喜男、会田 房男、森 修、高柴 有一、熊田 厚志、渡部実和子、五十嵐 稜

❖ 内 容

1 開会のことば 菊池教頭

2 校長あいさつ 野口校長

新年度スタートして一か月半が経ちました。今年度は新入生19名が入学し、そのうち4名が湖南出身です。2年生は16名、3年生は21名、計56名の生徒でスタートしています。

最近では、ラジオ福島で新入生インタビューでの出演や、ボート部・テニス部が地区大会への出場、そば部は大島そば同好会による指導を受けるなど様々な場面で地域の方々に御協力をいただき頑張っているところです。

昨年度までは、前校長を中心として保護者の方、地域の皆さんで様々な行事を立ち上げていただきました。今年度、それらの行事を計画的に進めつつ、マンネリ化しないよう、協議会の皆様の提言をいただきながら、精選し事業の充実を図っていきたいと思います。

今年度は新たな取り組みとして昨年度より交流のある城北埼玉高校とのコラボを進め、あらたな取組を進めるため、後ほどあります意見交換の中でお話させていただければと考えておりますのでよろしく願いいたします。

3 出席者自己紹介〔出席者〕

4 会長、副会長互選

出席者より声になかった為、事務局より昨年度から引き続き、会長に小山 伝一郎氏、副会長を満田 仁一氏が提案され全会一致で承認。

5 会長あいさつ 小山会長

引き続き会長を務めさせていただきます。今年度管理職が3人とも変わったので、より一層一致団結して湖南高校のために頑張っていきたい。

6 協議

(1) 令和5年度学校経営・運営ビジョンについて

野口校長より以下の変更点を含め説明があり承認された。

- ・変更点1→「地域連携の強化と発展的活動」の部分を変更。さらに発展するため。
- ・変更点2→重点1⑤ 昨年まではICT充実。今年度は郡山市と連携
- ・変更点3→重点2 一番下の目標値の部分の表記：4年生大学→国公立大学
年度によって学力は変わるが学校としての目標を高めた。

- ・変更点4→重点3④ 部活動の活性化→地域に根差した部活動

(2) 令和4年度学校運営協議会活動報告

菊池教頭より活動報告について以下の説明があり了承された。

- ・令和5年2月の10日に実施されました第5回学校運営協議会の中で報告された内容を掲載した。その中でも多くの保護者や地域の皆様の御支援をいただき、生徒も充実した学校生活を送っている。新たな取組として城北埼玉高校との合同田植が実施され、今年度も5月26日（金）の米粉大作戦を昨年に引き続き計画しています。

(3) 令和5年度学校運営協議会活動計画

菊池教頭より事業計画について説明があり承認された。

(4) 学校の魅力化のための意見交換（要約）

☆城北埼玉高校との交流について

- ・城北埼玉は7月の第2週目以降家庭学習期間に入るため、数名（2～3名）の生徒を本校に1週間程の受入れをお願いしたいという依頼があり2学年で検討したい。（7/13～17?）
- ・湖南ホームステイ制度に近い形で地域の方に短期での受け入れをお願いしたい。
→2～3名であればホームステイ先の協力者の見通しはつく。
- ※ 城北埼玉高校との交流について5月の職員会議で了承を得て進めたい。

☆菱の実プロジェクトの連携の活性化について

- ・猪苗代町で菱の実の回収やお茶づくりをしている「株式会社いなびし」の長友氏が、今年から湖南にも拠点を作っている。回収作業やお茶づくりの際に生徒も協力できないか。
- ・菱の実の回収作業への生徒参加や、長友さんを学校に招いて講演等をしていただくことは可能であるため連携してはどうか。
- ・本校は湖岸清掃を毎年やっているが、それを活用し中学校も含めた活動としてはどうか。
→地域課題の解決につながる。（コミュニティスクールとしての存在意義）
- ・湖岸の菱の実回収や清掃について、北側湖岸のボランティアや環境課、水道課の清掃活動は広く知られているが、その中で小中高と地元でもやっていることはあまり知られていないので、ぜひ広く広報してほしい。

☆高校生の情報発信力の活用について

- ・湖南にずっと住む者たちの案には限界があるので、高校生の発想はとても刺激になり教えられることが多い。また、高校生の情報発信力は大人より凄いので、ぜひ若者の力を活用してほしい。
- ・特に湖南高校の場合、郡山から1時間かけて登下校しているという時間的ハンデがある。生徒の大部分が地元ではない。ただそのハンデも情報発信力を使えばハンデではなく、プラスになるのでは。湖南に通ってよかったと思えるように育ててほしい。
- ・3月に、SNSの講座を実施した際に、高校生の文章力の高さを感じた。そこに情報発信力を加えれば郡山市にとってもいろいろな発信ができるので、どんどん活用してほしい。
- ・今年になって行政の組織が変わり、政策開発課でZ世代活躍係というのができた。概要としては、「SDGsなどの社会課題への意識が高く、デジタルネイティブなZ世代を含む若者の活躍推進に向けた体制を特化する」とされている。なにか授業で課題等があれば、連携して解決したい。

☆コミュニティスクールとして他校との連携について

- ・県内7校のコミュニティスクールでの連携や情報交換をしてコラボできないか校長間でも確認したい。

☆スキー教室等に関わるバイパス道路の問題と、使用道具劣化の問題について

- ・バイパス道路ができ、体育の授業での体力づくりの際に道路を渡らなければならなくなり、危険が増えた。一時停止せずに走行する車もみられるため、信号機等の設置を要望したい。
- ・福良スキー場で授業を行っていたが、バイパス道路に歩道がないため移動が難しくなった。歩道の設置を要望したい。また、道具が古くなってしまったので、地元の皆様の寄付等の協力の声かけをお願いしたい。
- ・用具寄付等の相談先を探して相談していきたい。授業として継続的にスキーができるのは湖南の特徴。道路や道具の問題でできなくなるのはもったいない。ぜひ続けられるように解決策を探りたい。

☆公民館の文化祭との連携について

- ・公民館の文化祭は今年も開催予定。少年の主張に参加していただけるよう早めに案内したい。また、湖南高校の紹介コーナーを設けることも可能。

☆湖南町ガイドブックについて

- ・パンフレットにQRコードをいれて、景色や動画を読み取れるような工夫をしながら作成できるとよい。県でもそれを目指している。

(5)その他

- ・今年度の面談練習日程：9月13日（水）予定ですので協力をお願いしたい。
- ・本協議会に生徒を入れるという提案について
→テーマを決めて、生徒の負担にならないよう年に1・2回であれば可能ではないか。

7 その他

- ・第2回学校運営協議会開催日が7月12日（水）であることが確認された。

8 閉会のことば 菊池教頭